

○研究プロジェクト
「倫理的な関心と思考を培う経営教育の探究」

開催責任者 ビジネス研究科 願興寺ひろし
高田一樹

2015年12月12日

南山大学名古屋キャンパスJ棟1階特別合同研究室

2016年3月5日

南山大学名古屋キャンパスJ棟1階特別合同研究室



研究プロジェクトは以下のとおり、開催された。

◇報告者および題目

12月12日（土）

1. 小方信幸（帝京平成大学）
「投資と倫理教育」
2. 潜道文子（拓殖大学）
「グローバル人材育成と倫理教育」
3. 岡部幸徳（金沢工業大学）
「ケースメソッドと倫理教育」
4. 本田康二郎（金沢医科大学）
「倫理教育の授業設計と成績評価」

5. 杉本俊介（大阪経済大学）
「経営学部での規範倫理教育」
6. 梅津光弘（慶應義塾大学）
「責任ある経営教育と実務への架橋」

3月5日（土）

1. 平野元希（株式会社エルテス 西日本営業部長）
「企業倫理が問われるネット炎上への取り組み」
2. 願興寺ひろし（南山大学ビジネス研究科教授）
「インドネシアにおける文化風土と労務問題への対応」

◇研究プロジェクトの討論内容

今年度は研究会を2度開催した。12月に開催分では、国内の大学から6名の大学教員を招き、グローバル人材育成、ケース・メソッド教育、倫理教育の効果測定法、社会的責任投資（SRI）、規範倫理教育、経営教育の国際化、責任ある経営教育原則（UN-PRME）に関し、登壇者各人の経験や考察を発表し、質疑応答の場を持った。また、3月研究会では、実務家および実務家教員に登壇を依頼し、企業のウェブサイトに対するネット炎上の倫理的課題と対処法、およびインドネシアにおける日本企業の現地適応について、とりわけ労務管理に関するテーマでご講演いただき、経営倫理教育に関する話題提供を受けた。

◇研究成果発表

高田一樹、「M.フリードマン(1970)の活用術——批判的な思考力を培う経営倫理教育」、『経営教育研究』第19巻1号、pp.73-82、2016年2月。

